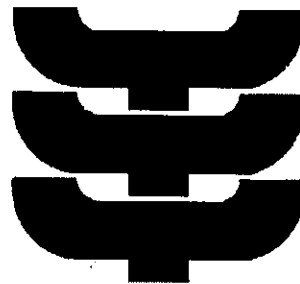


令和2年度

久留米市文化財専門委員会



- ◆ 日時 令和2年11月2日(月) 14:00～
- ◆ 会場 久留米市開発公社会館メルクス2階会議室

市民文化部文化財保護課

令和2年度 久留米市文化財専門委員会

日時：令和2年11月2日(月) 14:00～

会場：久留米市開発公社会館メルクス2階会議室

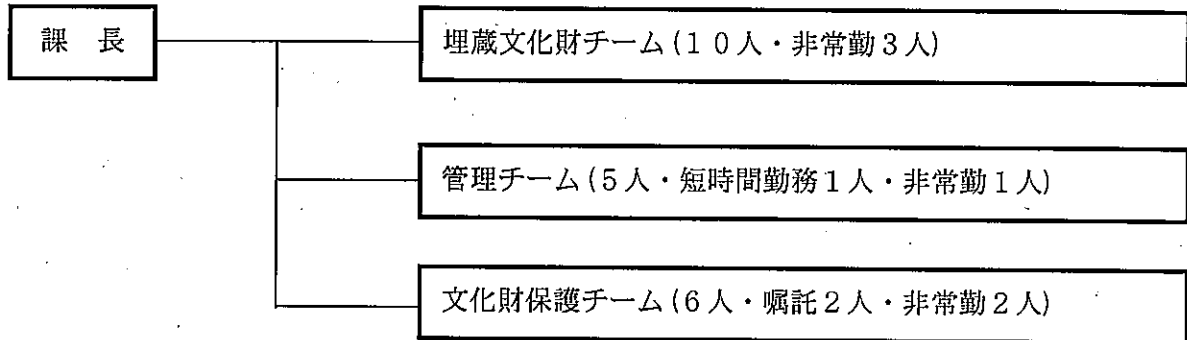
次 第

- 1 開会のことば
- 2 文化財保護課長挨拶
- 3 令和2年度配属職員の紹介
- 4 報 告
会長挨拶
 - (1) 令和元年度の事業報告 …… 1
 - (2) 令和2年度の事業概要 …… 33
 - (3) 次年度以降の諮問予定資料 …… 44
 - (4) 久留米市文化財保存活用地域計画策定 …… 別紙
 - (5) その他
- 5 閉会のことば

(1) 令和元年度の事業報告

I. 組織と業務概要

1. 組織



2. 事務分掌

- (1) 文化財の保護及び活用に関すること。
- (2) 文化財の指定及び管理に関すること。
- (3) 文化財専門委員会に関すること。
- (4) 文化財関係団体に関すること。
- (5) 埋蔵文化財に関すること。
- (6) 埋蔵文化財センターに関すること。
- (7) 収蔵館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。
- (8) 文化財収蔵資料審議会に関すること。
- (9) 収蔵館の維持管理に関すること。
- (10) 博物館の建設準備に関すること。
- (11) 歴史公園に関すること。
- (12) 坂本繁二郎生家に関すること。
- (13) 久留米市文化財保存活用地域計画協議会に関すること。

3. 業務概要

久留米市が有する歴史的な資源の適正な保護とその利用及び活用に努めるとともに、市民が歴史や伝統を身近に感じ、親しみ、暮らしに生かす機会を提供することで、市民意識の醸成や地域文化の継承に役立ててきた。また、地域の活性化につなげるために、地域と連携した事業の展開を図ってきた。

また、「公益財団法人有馬記念館保存会」、「公益財団法人久留米絃技術保存会」を所管し、運営を行った。

(1) 文化財を守り伝える

- ① 埋蔵文化財発掘調査においては、都市開発と文化財保護の調整を図るとともに、事業の効率化、迅速化及び標準化など円滑な実施に努め、併せて調査結果の公表のため報告書を刊行するなど、市民の理解と協力を得る取組を行った。
- ② 埋蔵文化財センターを中心に、埋蔵文化財の整理・保存と調査・研究を行うとともに、生涯学習・教育活動の場としての活用を図った。
- ③ 有形・無形・民俗文化財やその他の文化財の積極的な調査と保存、活用に努めるとともに、総合的な記録の整理と活用に取り組んだ。

(2) 文化財に親しむ

- ① 市民の意識の高揚を図るため、文化財の周知に努め、文化財保護の啓発・普及を図った。
- ② 生涯学習振興の観点から、六ツ門図書館展示コーナーや久留米シティプラザでの企画展等の開催、校区での展示会や歴史探訪、地域の歴史を学ぶ出前講座、学校の総合的な学習の時間における体験学習など、地域に根ざした文化財を学び、親しむ機会の充実に努めた。
- ③ 市民の文化財保護活動の充実、促進を図るために、文化財保存事業および文化財保護団体等への活動支援を行うとともに、文化財を活用した地域密着観光などによって文化財を活用した市民との協働のまちづくりを進めた。
- ④ 市民が文化財に親しみ、理解することができるように、説明板等の整備や文化財マップの作成に取り組んだ。
- ⑤ 生涯学習施設としての「歴史博物館」について、資料の収集・調査に努める一方で、これまでの経緯を十分に踏まえ、今後のあり方の検討を行った。また、企画展等を開催するとともに、市民からの問い合わせや資料貸出しを行う等、収集した資料の有効活用を図った。

(3) 文化財を暮らしに生かす

- ① 筑後国府跡、高良山神籠石などの史跡の保存・保護を図りながら環境整備を進めるとともに、市民の地域学習や歴史学習、小中学校の野外学習やレクリエーション、憩いの場としての活用を促進した。
- ② 市内に現存する歴史的建造物などを調査し、貴重な物件は歴史的文化遺産として指定・保存等を行い、必要に応じた修理・復元を行いながら、市民の暮らしの中で、地域学習や生涯学習などに活かすとともに、観光資源として活用を図った。

◎主な事業の概要

事業名	事業概要	予算額 (千円)	予算額 (千円)
		31年度	2年度
発掘調査事業	貴重な国民の共有財産である埋蔵文化財を、開発等により現状保存措置がとれない場合は、記録保存のため、発掘調査した。わが国及び久留米地域の歴史・文化等の正しい理解を促すとともに、市民の郷土愛を醸成し、その魅力や価値を伝える取り組みを進めた。	計 152,308	計 132,351
埋蔵文化財センター事業	発掘調査に伴う出土品や記録類を集中管理し、調査研究するとともに、市民の多様な文化的活動の展開を拡大するため、展示会や体験学習、学校教育の「総合的な学習の時間」への支援事業等を実施した。	計 1,703	計 2,181
有馬記念館活用事業	有馬記念館の収蔵資料を保存・活用して、久留米の江戸時代や郷土の歴史に関する情報を公開展示する。また、久留米城跡等歴史文化施設とともに広くPRして、観光拠点として集客を促進する。	計 9,329	計 9,341
歴史博物館整備検討事業	地域文化を知り、創造し、継承するための生涯学習施設としての歴史資料館の整備を図った。これまでの寄贈資料を有効に活用するために、六ツ門図書館展示コーナーやシティプラザにおける資料の展示や体験学習を通じて、集客効果を高め、収蔵資料の積極的な活用を図った。	計 12,890	計 112
歴史資料保存活用事業	地域文化を知り、創造し、継承するため、歴史資料の収集と適正な保存管理を図る。 また、六ツ門図書館展示コーナーや、久留米シティプラザ等での展示を通じて、資料の活用を図り、郷土の歴史に関する市民意識の高揚を図り、地域文化の継承に役立てる。	0	計 10,477
筑後国府跡歴史公園整備事業	史跡筑後国府跡は、律令期における筑後国の中心的な施設で、久留米の都市づくりの原点といえる。史跡の整備により、市民が歴史を学び、楽しく活用する場を提供するとともに、住宅地に緑あふれる歴史公園を創出することにより、魅力あるまちづくりを推進し、交流人口の増加と定住促進を図っていくことを目的とした。	計 53,564	計 6,000
歴史的建造物保存整備事業	市内に残る歴史的価値のある建造物の調査・保存・整備・活用を図り、市民が身近な場所で歴史を感じながら暮らすことのできるまちづくりを推進した。	計 1,011	計 3,048

史跡等環境整備事業	市民が歴史に親しみながら憩う場として、史跡等を適正に管理し、地域の特性を生かした「歴史の広場」の整備を進め、まちづくりの素材としても多くの場面での活用を図った。	計 3,890	計 4,198
歴史ルートづくり事業	地域と協働して交流人口の増加を図り、定住人口の増加を目指すことを目的とする。市内の豊かな歴史・文化を保存継承し、地域資源として活用するために、地域固有の歴史的なストーリーを整理し情報発信を行った。	計 21,345	計 18,130
文化財施設維持補修事業	収蔵資料の保存及び施設の適切な維持管理のため、必要な施設の設置、改修または補修を施すことで、文化財の活用を図った。	計 4,389	計 0
文化財保護団体等育成事業	絵画や典籍および彫刻などの有形文化財や、祭りなどの無形文化財の管理および普及活動を行っている団体に対して補助金を交付し、文化財の保護を図った。	計 1,156	計 1,004
坂本繁二郎生家活用事業	久留米城下町に唯一残る武家屋敷である坂本繁二郎の生家（市指定文化財）を保存・活用し、後世へ伝えるための文化芸術体験講座等を実施した。また、重要な地域資源としてPRし、多方面で活用を図った。	計 400	計 390

Ⅱ. 文化財の指定

1. 指定文化財の状況

久留米市内の指定文化財は、国指定文化財 28 件、県指定文化財 42 件、市指定文化財 107 件、国登録文化財 5 件である。

久留米市内の指定文化財一覧表

指定別	総数	有形文化財										無形文化財	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	選定技術保存	登録文化財
		総数	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料								
総数	184	84	21	11	18	9	2	0	8	12	3	2	31	10	23	1	26	0	7
国	35	14	3	3	4	2	2	0	0	0	0	1	0	1	9	0	3	0	7
県	42	21	7	3	3	3	0	0	2	3	0	1	5	2	6	0	7	0	0
市	107	49	11	5	11	4	0	0	6	9	3	0	26	7	8	1	16	0	0

(令和2年3月31日)

※史跡と天然記念物に二重指定されている「目安町の一里塚」は史跡に含んでいる。

2. 新規の登録文化財

1) 日本福音ルーテル久留米教会礼拝堂および煉瓦塀

登録年月日：令和元年9月10日

所在地の場所：久留米市日吉町16-3

所有者の氏名または名称および住所：宗教学法人日本福音ルーテル教会

東京都新宿区市谷土原町1丁目1

時代：大正7年（礼拝堂）・昭和2年頃（煉瓦塀）

区分：建造物（礼拝堂）・工作物（煉瓦塀）

指定の事由：久留米市中心部に建つプロテスタント教会であり、ウィリアム・メレル・ヴォーリス

の設計により、大正7年に完成した。煉瓦造、東西棟の切妻造りで、東北隅の鐘楼北面に玄関が設けられている。外壁は煉瓦積みを現し、内部はシザース・トラスを用いて柱のない開放的な空間となっている。全体に簡明で装飾は少ないが、合理的な平面構成や丁寧な仕上げにヴォーリス初期の設計活動の特徴をよく示すことから登録された。



日本福音ルーテル久留米教会外観

Ⅲ. 埋蔵文化財調査事業の概要

1. 埋蔵文化財事前確認

令和元年度の窓口受付件数は634件。内訳は対象外425件、要調査177件、事業進捗状況に伴い未回答のもの32件である。要調査のうち、設計変更や協議によって調整を図り、工事立会もしくは慎重工事での対応が106件で、発掘調査と回答した15件の内、発掘調査の対応を行ったのは4件であった。

なお、平成26年8月より、GISを活用した窓口での照会件数もカウントしているが、1日平均で18件程度の問い合わせがある。

「埋蔵文化財包蔵の有無について」の照会件数の推移

年度	受付件数	対象外	要調査	要調査のうち			未回答
				保存調整	発掘調査	未調査	
27年度	637件	396件	227件	179	24	24	14
28年度	650件	457件	183件	140	24	19	10
29年度	720件	451件	267件	190	17	60	2件
30年度	714件	453件	240件	200	5	35	21
元年度	634件	425件	177件	106	4	11	32

* 保存調整とは工事立会・慎重工事での対応、未調査には売買・事業取消しを含む。

* 未回答とは事業の進捗状況等のため、当該年度内において回答に至っていないもの。

2. 発掘調査

(1) 発掘調査及び整理作業

令和元年度に実施した発掘調査は以下の通りで、12地点で実施した。調査原因は公共の県事業1件、市事業5件、民間受託事業2件、個人住宅等の国庫補助事業2件、確認調査1件である。

整理作業については、調査事務所において発掘調査報告書刊行の遺跡の出土遺物の作業を中心に実施。主な作業内容は、遺物の洗浄・復元・実測及び報告書刊行分の埋蔵文化財センターへの搬入前の登録作業である。

調査番号	遺跡名	調査期間	調査面積	担当者
201901	高三瀨遺跡 第9次調査	平成31年4月8日～令和元年5月31日	240㎡	大隈
201902	安武三反野遺跡 第5次調査	平成31年4月15日～令和2年2月26日	389㎡	西
201903	筑後国府跡 第293次調査	令和元年5月30日～令和元年7月26日	214㎡	小川原
201904	京隈侍屋敷遺跡 第31次調査	令和元年7月1日～令和元年9月12日	138㎡	江頭
201905	横道遺跡 第13次調査	令和元年7月22日～令和元年7月31日	18㎡	長谷川

調査番号	遺 跡 名	調 査 期 間	調査面積	担当者
201906	筑後国府跡 第 294 次調査	令和元年7月26日～令和元年8月2日	81 m ²	小川原
201907	筑後国府跡 第 295 次調査	令和元年8月1日～令和元年9月27日	100 m ²	大隈
201908	高三瀦遺跡 第 10 次調査	令和元年8月1日～令和元年10月28日	150 m ²	小川原
201909	筑後国府跡 第 296 次調査	令和元年9月11日～令和元年10月11日	150 m ²	江頭
201910	南薫西遺跡 第 10 次調査	令和元年10月1日～令和元年12月20日	419 m ²	長谷川
201911	高三瀦遺跡 第 11 次調査	令和元年12月3日～令和元年12月17日	3.50 m ²	小川原
201912	秋成遺跡 第 3 次調査	令和2年2月3日～令和2年3月6日	67 m ²	大隈

(2) 現地説明会

埋蔵文化財の啓発・普及活動の一環として、下記の1地点について現地説明会を実施した。

実施年月日	遺 跡 名	所在地	参加人数	備 考
令和元年 6月15日(土)	安武三反野遺跡 第5次調査	安武町安武本 2204-1	96名	弥生時代の墳墓遺跡 6月16日付『朝日新聞』ふくおか筑後版・『西日本新聞』筑後版 『広報くるめ』7月1日号 に掲載

(3) 今後の課題

課題としては、現地説明会を1回実施したものの、複数回の実施や他の普及事業を行うための時間が確保できていない。また恒常的な調査員不足から調査・整理作業ともに滞っており、民間支援機関の導入・活用を視野に入れる必要がある。

3. 埋蔵文化財センター事業

(1) 令和元年度の概要

令和元年度に実施した国庫補助事業の「地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業」については、平成 29 年度より継続して、筑後国府跡の調査で得られた資料の収納形態及び検索体系を整え、資料の有効な活用・公開を行うことを目的として、再整理を行った。本年度は、推定国司館跡（そのうち風祭地区南部・井葉地区）の再点検作業を実施した。

また、地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業に伴い、安武校区コミュニティセンターを会場として、令和元年 11 月 9 日～12 月 2 日の期間、安武校区の歴史を紹介する企画展「【超】いにしへの安武展」を開催、地元への調査成果の普及・啓発・還元に努めた。

主な普及活動としては、久留米市生涯学習センターとの共催事業として 6 月 15 日～27 日の期間「久留米の山城展」をえーるピア久留米で開催。719 名の見学者を得た。会期中の 6 月 23 日には「久留米の城 古代～近世まで」と題し講演会を開催。72 名の聴講者を得た。また、埋蔵文化財センター玄関ホールの展示替えを行い、大正～昭和 30 年代に久留米高等女学校校長などを歴任して、人材育成や郷土研究を指導された武藤直治氏の遺族より平成 16 年に寄贈された 843 点の資料より、特に氏が愛好された瓦を特集して展示している。

この他、発掘調査および報告書が刊行された遺跡については、出土品を含む記録類の受け入れを行い、資料の貸出や閲覧に対応できるよう情報を管理し、収蔵している。

(2) 入館者数

令和元年度の当センター入館者総数は 1,149 人であった。

入場者数を月別に見ると、11 月が突出して多い。この要因は、11 月 10 日（日）に「えーるピア久留米」を主会場として多くの子どもや保護者が参加する「マナビィランド」が開催されたためである。埋蔵文化財センターもスタンプラリーのチェックポイントの一つとして展示にまつわるクイズに回答しスタンプを受ける方式で参加し、当日だけで 637 名の入館者があった。

令和元年度月別入館者推移一覧

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
人数	65	38	57	33	29	42	51	673	62	34	53	12	1,149

(3) 資料活用

①資料貸出

学校や地域、さらには学術研究や印刷物掲載にかかる目的で、資料の貸出申請が 8 件 108 点においてあり、そのすべてを受付後に許可した。ただし、画像の貸出についてはフィルム現物の館外貸出は

控えている。これは、写真資料の保存に重点を置くため、画像はデジタルデータを貸し出すことで理解していただいている。

R1	期 間	借用申請者	目 的	貸出品名	点数
1	4/1~3/31	九州歴史資料館	常設展示	中原狐塚古墳出土 土師器台付壺 1点 須恵器高坏 1点、須恵器ハソウ 1点、鉄鏃 13点、鉄刀子 1点、三累環頭 2点、正福寺遺跡出土どんぐり入り編みカゴ 1点、筑後国府跡出土 土器（東限大溝出土）7点、「守館」銘墨書土器 1点、イスラム器 2点、筑後国分寺跡出土 軒丸瓦（創建期）1点、軒平瓦（創建期）1点	32
2	4/1~3/31	九州国立博物館	常設展示	野口遺跡竊 B 式土器 1点、正福寺遺跡出土編籠 1点、野口遺跡出土石匙 2点、磨製石斧 1点、家形埴輪 1点	6
3	4/22~4/24	長門石小学校	体験学習	火起こしセット	10
4	8/2~12/20	山川小学校	理科授業	山川前田遺跡・筑紫大地震関係写真パネル	6
5	8/19~1/14	有馬記念館	茶道具展	庄島侍屋敷出土柳原焼茶碗、東野亭焼など	4
6	9/21~11/24	大分県立埋蔵文化財センター	「宗麟とキリスト教」展展示	城下町 2次（両替町）出土 十字文軒平瓦	2
7	10/12~12/8	九州歴史資料館	特別展「久留米」展示	野口遺跡西平式土器、正福寺遺跡出土柄付石斧ほか	46
8	11/8~11/9	あきない祭実行委員	あきない通り歴史館展示	魚屋町遺跡出土煙管雁首・雁首銭	2
合 計					108

②資料の掲載

当センターの収蔵資料を印刷物に掲載する申請が 7 件 13 点提出された。

この申請について全てを許可した。

R1	申請者	掲載品名	点数	掲載書名・内容
1	高良山観光ボランティアガイドの会	御井校区の文化財マップ	1	活動用資料として活用
2	潜伏キリシタン図譜プロジェクト実行委員会	両替町遺跡出土十字文瓦	1	『潜伏キリシタン図譜』に掲載

3	(株)テレビ西日本	山川前田遺跡地割れ検出状況写真	1	「福岡ニュースファイル CUBE」筑紫国地震特集コーナーにて放映
4	個人	三本松町遺跡出土色絵鳳凰文器台写真	1	個人ブログ掲載
5	(株)西日本広告社	筑後国府跡紹介写真	7	西日本新聞年賀名刺広告紙面掲載
6	(株)小峰書店	益生田古墳群第 88 号墳玄門・閉塞石傾斜状況	1	『明日の防災に活かす 災害の歴史』全 5 巻中の「日本列島誕生～奈良時代～」に掲載
7	NHK制作局 第 2 制作ユニット	御塚・権現塚古墳出土新羅土器写真	1	「英雄たちの選択 継体天皇」で使用

合 計 13

③資料の閲覧

13 件の閲覧申請があり、館内特別閲覧の許可を行なった。

R1	閲覧者 または 団体名	目 的	日 付	資 料 名
1	個人	資料調査	4月25日	福聚寺古墳出土金属器
2	個人	博士論文執筆	4月29日	益生田古墳・中原狐塚古墳出土金属器
3	九博ボランティアガイド	自学研修	6月21日	正福寺遺跡出土遺物
4	大分県埋蔵文化財センター	「宗麟とキリスト教」展借用資料調査	7月29日	城下町遺跡第2次調査出土十字文軒平瓦
5	福岡市職員	研究論文執筆のため	8月5日	中原狐塚古墳出土鉄製品（九州歴史資料館展示貸出中の鉄器も含む）
6	個人	研究のため	9月18日	小郡市発行報告書閲覧（横隈地区の古墳関係2冊）
7	個人	資料調査	10月10日	展示室
8	九州国立博物館	来年度常設展展示借用品候補調査	10月18日	城下町遺跡第2次調査出土十字文軒平瓦
9	個人	卒業論文用資料調査	10月28日・29日	山川南本村・野中前遺跡出土師器甕類 30点
10	個人	論文用資料調査	12月5日	市内出土「元祐通宝」8点

11	個人	研究用資料調査	2月19日	隈山2号墳、西行古墳、良積遺跡出土玉類
12	個人	論文用資料調査	2月21日	伽藍田2次・西屋敷1次出土土器
13	個人	論文用資料調査	2月21日	筑後国府跡・ヘボノ木遺跡出土 墨書・刻書土器

④施設利用

センター内の団体による施設見学・展示案内と解説などは2件であった。

R1	見学者または団体名	目的	日付	人数
1	筑後若者サポートステーション	歴史学習	4月17日	10名
2	私立クラーク記念国際高等学校久留米キャンパス	歴史学習	10月30日	7名
合計				17名

(4) 地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業

令和元年度における国庫補助事業「地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業」として、筑後国府跡の再整理を実施した。再整理後のコンテナ数は、次のとおりである。

筑後国府跡（第43・60・155・165次）

・新規1種遺物収納パンコンテナ総数 29箱

(5) 図書類

◆寄贈図書

報告書・紀要・図録類：823冊

◆購入図書

定期購読：『考古学ジャーナル』No.724～737（ニュー・サイエンス社）

『文化財発掘出土情報』通巻455号～466号（株）ジャパン通信情報センター）

IV. 文化財保存・整備事業

令和元年度に係る事業は、美術品の修復1件、建造物関連事業2件、歴史資料調査事業1件、史跡等の整備に係る事業3件、名勝・天然記念物保存事業1件、文化財保存活用地域計画の作成を実施している。

1. 有形文化財・民俗文化財

(1) 収蔵資料補修事業

①収蔵資料補修事業

令和3年(2021)の有馬氏の久留米入城400年を控え、令和元年度から2ヵ年の予定で「練革黒漆塗白糸威五枚胴具足」1領を修復する。

資料の品質及び形状は、革製、黒漆塗。兜、五枚胴、籠手等。鎧櫃が附属している。制作年代は江戸時代末期である。

資料の現状については、

- ・全体に汚れが目立つ。鎧櫃は過去の補修跡に漆以外の塗料が見られる。
- ・兜の塗膜剥離・剥落素地である革の収縮に伴い、兜鉢の塗膜全面に亀裂が生じ、剥離・剥落が生じている。また、筋兜状に装飾された筋部分は、こより・革・鯨の鬚などの材料が使用されていることが考えられるが、素地の収縮に伴い歪んでしまっている。
- ・五枚胴は、素地である革の収縮に伴い、五枚胴に施されている竜の高蒔絵に亀裂が生じ、大きな剥離が生じている。剥落の危険性が非常に高い状態である。
- ・その他、忍緒(しのびのお)は表面が劣化し、繊維が広範囲に落ちている。全体に打損などによる欠損が見られ、欠損部周辺の塗膜剥離・剥落が見られる。

ことが指摘され、この結果を踏まえ、補修方針を以下のとおり定めた。

- (1) 現在、我が国で行われている指定文化財漆工芸品の保存修復に則り、現状保存修復を原則として行う事とする。
- (2) 修復に際しては、十分に事前調査を行い傷みの現状を確認した上で修復工程を決定する。
- (3) X線CT調査を実施して兜や五枚胴の構造を確認する。使用材料を調査し損傷原因を考察した上で、適切な処置方法を改めて検討する。必要に応じ蛍光X線分析、マイクロスコープ観察等の調査を行う。
- (4) 写真撮影を伴った修復の記録を取り、修復後と比較できるようにし、修復終了後報告書を作成し提出する。

補修方法については以下の方法で実施する。

- (1) 事前調査ではX線CT調査を実施し、作品の現状を確認した上で改めて修復処置内容の検討を行う。

- (2) 検討会では甲冑製作の豊田勝彦氏とともに処置方法を検討し、安全に修復作業を実施するために五枚胴の解体・組み立て作業も担当をしてもらう。
- (3) 忍緒は表面の繊維が劣化をしているが、補強処置ができないため現状のままとする。落ちた繊維は集めて別途保管をする。
- (4) クリーニング作業では、漆塗膜に傷が入らないように柔らかい毛棒で塵や汚れを払い落とす。漆塗膜に付着しているカビ汚れは、柔らかい木綿布に極少量の水分を与えたもので少しずつ拭きとりながら除去作業を行う。
- (5) 必要に応じ弱いアルコールを使用した除去も行うが、高濃度での使用は行わない事とする。カビ汚れの下には、漆塗膜上に時代を感じさせる経年の汚れが残されていることから、必要以上にクリーニング作業は行わない事とする。
- (6) 鎧櫃の補修で塗られた黒色塗料は、溶剤を使用し可能な限り除去を行う。
- (7) 兜の剥離塗膜の接着では、塗膜接着用に調合した麦漆を溶剤で希釈をして塗膜下に含浸し、圧着固定を行い塗膜の安定処置を行う。
- (8) 作業上、麦漆での作業が困難な場合は、膠で接着を行う。筋の歪みは、真っ直ぐにする場合は余分な長さを切除する必要があるため、表面の傷を今以上に増やさないためにも現状のままで接着安定処置を行う。
- (9) 五枚胴の高蒔絵剥離箇所接着では、練革の収縮に伴い元の位置に密着した状態で収まることはできない状態である。そのため、五枚胴との隙間を可能な限り減少をさせた状態で高蒔絵を塗膜接着用の麦漆で接着安定を行い隙間に刻苧を充填し高蒔絵の安定処置を行う。
- (10) 鎧櫃の剥離塗膜は、兜の剥離塗膜接着と同様の仕様で接着安定処置を行う。亀裂部と欠損部に刻苧の充填を行い形態の復元を行う。小欠損部で損傷が拡大する心配が無い箇所については現状のままとする。刻苧箇所に錆漆下地を付けて表面肌を整え、欠損部と周辺漆塗膜との段差を緩和させる。また、触手による再剥落を防止するため、塗膜際に極少量の錆漆下地を付け仕上げる。

(2) 建造物関連事業

①鹿毛家住宅修復事業

鹿毛家住宅の棟続きの蔵3棟の内、附属屋（番屋）北面が崩壊して土壁が抜け落ち柱等部材が腐食している状態にあった。そのため、土壁と部材を中心に修繕を行うこととし、以下の工程で行った。事業期間は令和元年11月22日から令和2年3月31日である。

崩壊した土壁は、木舞搔き→荒壁→大直し→中塗り→漆喰塗りの手順で行い、腐食した柱（鹿毛鶴之助宅附属屋保存修理工事報告書17頁図A番付図の「い二」）については、下半部分の腐食が著しく、新材と取り換えを行った。取り換えた柱については蔵の2階に保管している。また、同報告書番付図「い一」に取り付けられていた板塀は取り外し北壁の修復作業を行い、板塀については、腐食した板

材を取り換えて塗料を塗りなおした。

②歴史的建造物等調査事業

令和元年度には、梅林寺唐門、高牟礼会館煉瓦塀、真教寺本堂の3ヵ所について記録保存調査を実施した。なお、寺町の寺院建物群については平成25年度から継続調査を行い、17ヵ寺院の内11ヵ寺院の調査を終了している。

(3) 史料調査事業

①高良大社歴史資料調査事業

国庫補助事業として平成29年度より3ヵ年計画で実施した。高良大社歴史資料の悉皆調査及び保存整備を目的として事業を推進し、令和元年度に報告書を刊行した。調査対象の総数は1,713件、その内訳は文書268件、記録類1,087件、典籍類189件、美術工芸品120件、考古資料23件、棟札26件である（一件中には複数の点数を含むものがある）。

2. 記念物

(1) 史跡等の整備に係る事業

①筑後国府跡歴史公園整備事業

令和元年度は、次年度用地取得に向けた継続交渉を実施するとともに、同意が得られた用地を取得した。そのため、現在の公有化面積は、38,789.84㎡（台帳及び実測面積）で、国・市有地を含めると公有化率は、86.16%となった。

また、平成30年6月に「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法」が公布されたため、法務局と連携しつつ、一部の相続未了地について所有者探索を進めている。

②史跡筑後国府跡保存活用計画策定事業

2ヵ年の国庫補助事業として平成30年度に着手し、1年目は地形図作成及び委員会審議を行った。令和元年度は、市が作成した計画書案をもとに、史跡筑後国府跡保存活用計画策定委員会において、綿密な審議を行い、計画策定を完了した。

③史跡下馬場古墳石室内環境調査

前年度から引き続き、保護施設の老朽化による石室内への温湿度の影響と、将来の古墳公開のあり方を考えるための基礎データ取得を実施した。

(2) 名勝・天然記念物保存事業

①県指定天然記念物「善導寺の大クス」再生事業

平成28年9月2日未明、幹の腐朽、梢端・枝端の枯損により幹・枝が折損した。平成29年度に樹勢回復を図るため4ヵ年計画で再生事業に着手した。事業3年目の令和元年度は、前年度に引き続き主幹開口部の腐朽抑制のための焼入れ及び墨石液塗布を行った。また、主幹南・東側の土壌改良を実施

した。なお、改良は根の損傷を極力回避するため水圧によるものとし、改良土は腐葉土・枯割竹、木炭等を混入させた自然改良型である。

②県指定天然記念物「柳坂曾根のハゼ並木」剪定事業

令和元年度は実施しなかった。

3. 久留米市文化財保存活用地域計画策定事業

社会情勢の変化の中で急速に消滅していく文化財を保護していくため、市町村における文化財の保存活用に関する目標や取組を記した法定計画「文化財保存活用地域計画」（以下、「地域計画」）の作成が文化財保護法に盛り込まれた。令和元年度から2ヵ年の国庫補助事業として、本市の歴史遺産を未来へつなぐ仕組みと具体的な取組を明確にするとともに、計画的かつ持続的な歴史文化のまちづくりを実現することを目的として作成に着手した。

令和元年度は、計画の基本理念や基本方針までの作成が終了した。

V. 文化財管理事業

1. 文化財保護団体育成補助事業

文化財保護課では、地域の文化財を保護育成するため、文化財保護団体や地域活動団体等へ補助金を交付している。

令和元年度は、13 団体に補助金を交付した。

(1) 文化財保護団体 (10団体)

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| ①大善寺玉垂宮鬼夜保存会 | 重要無形民俗文化財「大善寺玉垂宮の鬼夜」管理団体 |
| ②花火動乱蜂保存会 | 県指定無形民俗文化財「動乱蜂」管理団体 |
| ③北野天満神社神幸行事保存会 | 県指定無形民俗文化財「北野天満神社神幸行事」管理団体 |
| ④草野風流保存会 | 市指定無形民俗文化財「須佐能袁神社の神幸行事」管理団体 |
| ⑤若宮八幡宮御神幸祭実行委員会 | 市指定無形民俗文化財「若宮八幡宮の神幸行事」管理団体 |
| ⑥御井町風流保存会 | 市指定無形民俗文化財「御井町風流」管理団体 |
| ⑦八丁島御供納保存会 | 市指定無形民俗文化財「八丁島の御供納」管理団体 |
| ⑧満月会保存会 | 市指定無形民俗文化財「十五夜さん大綱引き」管理団体 |
| ⑨高良山同志会 | 市指定無形民俗文化財「高良山獅子舞」管理団体 |
| ⑩ヒナモロコ郷づくりの会 | 市指定天然記念物「ヒナモロコ」管理団体 |

(2) 研究会・文化財を活かした地域活動団体 (3 団体)

- ①久留米郷土研究会
- ②山川校区郷土研究会
- ③田主丸郷土会

2. 文化財施設・史跡等管理事業

文化財保護課が所有している施設及び指定史跡を4 団体及び個人1 名と随意契約にて管理委託し、指定史跡2 箇所草刈りについては、指名競争入札により業者に業務委託している。

(1) 指定文化財の管理業務

【団体委託】

- | | | |
|----------|------------|--------------------------|
| ・浦山古墳 | 国指定史跡 | 保存庫の施錠管理、見学者の対応。成田山久留米分院 |
| ・高良山神籠石 | 国指定史跡 | 高良山神籠石の清掃、見回り点検。高良大社 |
| ・日輪寺古墳 | 国指定史跡 | 保存庫の施錠管理、見学者の対応。日輪寺 |
| ・目安町の一里塚 | 市指定史跡天然記念物 | 市有地の草刈り、清掃。年3回実施 目安町自治会 |

【個人委託】

- | | | |
|---------|---------------|-------------------|
| ・大善寺旧庫裡 | 市指定有形文化財（建造物） | 旧庫裡の施錠管理、清掃、点検。個人 |
|---------|---------------|-------------------|

【業者委託】

- ・筑後国府跡 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年4回実施
- ・安国寺甕棺墓群 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年4回実施

(2) 歴史公園管理業務

以下の施設の管理業務について、地域団体等に委託している。

- ・おおはし歴史公園 県指定有形文化財（建造物）である石浦大橋を含む公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・御塚・権現塚史跡の広場 国指定史跡である御塚古墳、権現塚古墳と公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・大塚古墳歴史公園 国指定史跡である田主丸大塚古墳と歴史公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃

3. 防犯・防災事業

(1) 文化財防火デー

文化財愛護に関する意識の高揚を図る目的として、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定めており、例年、久留米市でも関係機関とともに訓練を実施している。令和元年度の実施概要は次のとおりである。

日時：令和2年1月23日（木）10時00分～11時00分

場所：北野天満宮（久留米市北野町中4267番地）

主催：久留米市、久留米市教育委員会、三井消防署三井出張所

参加者：三井消防署三井出張所、地元消防団、北野天満宮関係者、文化財保護課

内容	10:00	拝殿付近にて発炎筒着火 119番に通報訓練＋初期消火＋文化財持出し＋避難
	10:05	消防車等到着
	10:10	消火活動 建物へは放水せず、竹林若しくは法面へ噴霧注水
	10:30	消火器及び動力ポンプ使用法訓練（対象：北野天満宮関係者）
	10:45	撤収作業、あいさつ（北野天満宮）、講評（消防）
	11:00	解散

(2) 防災施設設置及び管理事業

文化財を火災から守るための防災施設の保守点検等に関する補助金を交付している。

令和元年度は、次のとおり補助金を交付した。

- | | | | |
|---------------|---------|------------|------|
| ・高良大社本殿他 | 重要有形文化財 | 防災設備保守点検事業 | 高良大社 |
| ・善導寺木造善導大師坐像他 | 重要有形文化財 | 防災設備保守点検事業 | 善導寺 |

・専念寺木造阿弥陀如来立像	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	専念寺
・無量寺木造阿弥陀如来立像	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	無量寺
・国分寺地蔵来迎図板碑	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	国分寺
・朝日寺木造神子栄尊坐像	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	朝日寺
・須佐能袁神社本殿、拝殿及び楼門	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	須佐能袁神社
・鹿毛家住宅	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	個人
		防災設備小修理	個人
・上野家住宅御成間	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	個人

この他、福岡県文化財保護課を通じて依頼があった文化財の防犯に関する注意喚起を行った。

VI. 歴史博物館整備検討事業

昭和 58 年（1983）4 月に設置した久留米文化財収蔵館を中心に、博物館資料の調査・収集・保存・活用を進めている。

令和元年度の資料の収集は、寄贈 9 件（40 点）、購入 1 件、採集 2 件（9 点）であった。

資料の活用は、貸出 26 件（203 点）、印刷物掲載等 47 件（211 点）、これ以外に研究利用等を目的とした閲覧や写真撮影 20 件（217 点）にも対応している。

1. 資料の収集・保存

(1) 収集

①寄贈（40 点）

資料群名	時代	寄贈者	数量(点)
青木照夫家資料（第 5 次）	昭和（戦前）	青木 照夫	1
姉川美智子家資料（第 1 次）	昭和 21 年～45 年製造	姉川 美智子	1
仲芳美家資料	昭和 10 年	仲 芳美	1
安武町追分の道標石	江戸時代 （安政 4 年）	安武町追分自治会	2
紺地縹重柵菱繫模様経緯緋裂（久留米緋）	明治時代前期	三輪 嘉子	1
久留米緋布団	昭和（戦前）	栗林 信子	2
福岡縣地圖第二版	昭和 13 年	江島 伸彦	1
矢野十三雄家資料	江戸時代～大正時代	矢野 十三雄	8
上野健三郎家資料（第 8 次）	明治時代～昭和初期	上野 健三郎	23

②購入

資料名	時代	数量(点)
牛島謹爾写真アルバム	大正 5～11 年	1

③採集（9 点）

資料名	時代	数量(点)
石井光次朗墨蹟	昭和（戦後）	1

大日本帝国政府軍用手票丁号券 (1 銭)	昭和戦後期末	8
-------------------------	--------	---

④刊行物

- ・ 寄贈図書：113 冊
- ・ 定期購読：24 冊
- 『月刊文化財』No.667～678 (第一法規株式会社)
- 『博物館研究』Vol. 54・No.4～Vol. 55・No.3 (公益財団法人日本博物館協会)

(2) 保存

①燻蒸

- ・ 久留米文化財收藏館 (久留米市諏訪野町 1830-6)

期 間：令和元年8月9日～12日

場 所：1階展示室	(11.3m×8m-1.895m×1.8m) ×3.7m=321.9 m ³
2階收藏庫	82.4 m ² ×3m=247.2 m ³
2階作業室	58.75 m ² ×3m=176.25 m ³
3階特別收藏庫	120 m ² ×2.85m=342 m ³
合計	1,087.35 m ³

薬剤等：殺虫・殺卵・殺菌を目的として、燻蒸薬剤エキヒュームSを使用

2. 資料の活用

(1) 貸出 (202点)

期間	機関名	目的	資料名等	数量
4月1日～ 3月31日	久留米市 人権啓発センター	人権啓発センター常設展示室	太鼓	1
5月15日～ 6月3日	八女市教育委員会	没後50年坂本繁二郎資料展	トランク、杖	3
5月22日～ 3月31日	みずほ銀行 久留米支店	100周年記念事業	写真データ	4
8月15日～ 12月15日	鳥栖市歴史資料館	企画展	田中吉政興廢記全・写	4
6月3日～ 6月10日	FBS福岡放送	番組制作	写真データ	1

8月16日～ 1月14日	公益財団法人 有馬記念館保存会	企画展「大名の風流」	有馬豊氏書状 他	20
6月16日～ 6月16日	(株)ディ・コンプレッ クス (FBS)	番組制作	写真データ	1
6月7日～ 3月31日	みずほ銀行 久留米支店	100周年記念事業	写真データ	1
6月17日～ 7月1日	個人	福岡空襲の体験発表	雑糞 他	2
6月14日～ 6月15日	一般社団法人 久留米青年会議所	主催事業にて使用	羽釜 他	69
7月19日～ 8月8日	小郡市教育委員会	「大原合戦」展示	短刀	1
7月26日～ 11月19日	太宰府市 文化ふれあい館	まるごと太宰府歴史館 2019	ル・フォショウ式ピス トル	1
7月10日～ 7月10日	みずほ銀行 久留米支店	100周年記念事業	写真データ	3
7月11日～ 7月19日	個人	学習会にて使用	雑糞 他	4
7月10日～ 10月1日	福岡県公立古文書 館	第1回企画展 「学校給食ヒストリー」	給食献立表 他	14
8月1日～ 8月7日	個人	福岡空襲の体験発表	雑糞 他	2
8月2日～ 8月5日	個人	福岡空襲の体験発表	雑糞 他	4
9月3日～ 12月24日	九州歴史資料館	特別展 「久留米-その文化と歴史-」	柳原焼 他	21
1月20日～ 4月21日	公益財団法人 有馬記念館保存会	企画展「春を彩る」	ひな調度 他	21
10月23日～ 10月25日	犬塚校区社会福祉 協議会	犬塚小学校社会科授業	民具	8
10月21日～ 11月1日	久留米市立 屏水中学校	人権学習	ちぎり 他	10

11月1日～ 11月7日	個人	若宮八幡宮行事	藁打ち	2
12月9日～ 12月13日	久留米市立 草野小学校	3年生総合学習	石臼	1
2月3日～ 2月7日	久留米市立 長門石小学校	きな粉作り体験	石臼	2
2月10日～ 2月14日	久留米市立 三潞小学校	3年生総合学習	石臼	2

(2) 印刷物掲載等 (211点)

許可日	申請機関等	目的	資料名	点数
4月11日	日本航空宇宙学会	調査及び学習会使用のため	弓曳童子	1
4月19日	八幡生涯学習のむ ら	参考資料として	「紀行(伊勢広島紀 行)」他	2
4月26日	個人	「戦争を歩く、戦争を記憶する」掲載のため	娼妓所得金日記帳	1
5月14日	田川市立 伊田中中学校	放送部により番組制作	久留米高女による 演奏会写真	1
5月20日	株式会社アッシュ	『必殺仕事人DVDコレクション』	弓曳童子・文字描 き人形	2
5月21日	鳥栖市歴史資料館	特別展「豊臣政権と因幡」	田中吉政興廢記 全・写 他	4
5月24日	公益財団法人 有馬記念館保存会	企画展「大名の風流」	有馬豊氏書状 他	20
6月25日	小郡市教育委員会	「大原合戦展」パネル作成	将軍梅	1
7月8日	西日本新聞社 久留米総局	記事掲載	施行当時の久留米 市役所 他	6
7月7日	個人	筑後地域文化誌「Agena Dogena」	『ドイツ人俘虜収容 所Ⅱ』掲載の「大谷 は教務所」写真 他	5
7月6日	個人	筑後地域文化誌「Agena Dogena」	久留米高女での演 奏会写真 他	3

7月24日	久留米ブランド研究会		明治初期の久留米城画像 他	1
6月25日	個人	大学授業発表にて使用	徴兵検査の栞 他	6
7月25日	個人	郷土の歴史調査	弥永家文書	28
7月29日	個人	『乃美大方の遺産』掲載	久留米城全景写真 他	5
8月15日	個人	『キッズペア 歴史館』掲載	田中久重肖像画 他	2
8月19日	個人	同窓会会報掲載のため	ドイツ俘虜音楽会写真 他	1
8月16日	株式会社ユニフォトプレス	中学校社会科(歴史)副教材	佐賀藩時代の田中近江夫妻写真 他	2
8月30日	個人	同窓会パンフレット掲載のため	久留米高女での演奏会写真 他	2
9月9日	有限会社 アイディーコーポ	イベント告知用チラシ掲載のため	弓曳童子	1
9月26日	株式会社ツクリテ	情報誌記事掲載のため	昭和32年久留米市ゼンリン地図 他	10
10月1日	株式会社 エヌエイ チケイプラネット	図録「玉屋庄兵衛の世界展」掲載	弓曳童子	2
10月2日	公益財団法人 有馬記念館保存会	企画展「春を彩る～雛と花の宴～」	雛調度 他	21
12月2日	個人	西南大学大学院論集9号に掲載	娼妓所得金日記帳 他	2
12月23日	個人	卒業論文執筆のため	「文中三年菊池氏高良山籠城」絵図 他	2
12月24日	RKB毎日放送	報道番組で使用	ドイツ俘虜収容所写真	3
12月26日	株式会社エスオー ダブリュ	J:COMテレビ「発見!筑紫の歴史」で使用	篠山城図 他	4

12月27日	FBS放送	報道番組で使用	ドイツ俘虜収容所 写真	3
1月7日	株式会社エスプロジ ェクト 代表取締役 社長 北村寛典	教育ビデオ「さがを誇りに思う教育推進 事業 高校生向け郷土学習映像資料」 に使用	田中久重の肖像写 真	1
1月8日	株式会社ワールドフ ォトプレス 今井今 朝春	商品情報誌「モノ・マガジン」2月16日号 特集「世界を変えた傑作トイ」内で紹介す るため	佐賀藩時代の田中 近江夫妻写真 他	1
1月20日	読売新聞西部本社 萩通信部	新聞報道で使用のため	鉄条網切片 他	3
1月24日	個人	自社記念誌への掲載	久留米高等女学校 女学生写真(三人 袴姿) 他	6
1月21日	個人	古代中世文学論考第40集掲載のため	合戦絵巻	1
1月27日	個人	博士学位申請論文のため	娼妓所得金日記帳 他	8
1月30日	毎日新聞西部本社 津島史人	新聞掲載のため	写真 西鉄久留米 駅プラットフォーム	1
2月18日	個人	雑誌掲載(国立国会図書館主催「デジタ ルアーカイブ産学官フォーラム」発表	旧久留米市庁舎の ライオン像2体	2
2月21日	第一印刷(株) スマイルプロジェクト	フリーマガジンスマイル4月号掲載	田主丸大塚古墳写 真	3
2月2日	公益財団法人 有馬記念館保存会	クリアファイル作成	黒漆塗唐草に龍胆 車紋蒔絵貝桶の写 真	2
2月28日	公益財団法人 有馬記念館保存会	広報印刷物掲載	溪楽図 他	17
3月1日	筑紫野市教育委員 会	五郎山古墳館説明パネル	写真「西館古墳全 景」	1
3月12日	公益財団法人 有馬記念館保存会	令和2年度有馬記念館年間スケジュール に掲載するため	田中吉政肖像写 他	2

3月17日	太宰府市	・『太宰府市公文書館紀要 年報 太宰府学』第14号所載予定「資料目録 太宰府絵師調査資料目録1 斎藤秋圃①」に図版として掲載	斎藤秋圃作「筑後磐井古蹟人形原図」(資料番号 A1999-040-001)	1
3月17日	凸版印刷株式会社ト ッパンアイデアセン ター 西日本TIC本 部長村田一朗	福岡酸素株式会社社史掲載のため	写真①本町ロータ リー②旭屋デパー ト	2
3月23日	中央印刷株式会社 代表取締役 富安 康太	筑邦銀行社誌	写真「戦災からの 復興が進む久留米 市街(続久留米市 誌上巻)	1
3月27日	(株)西日本新聞メディ アラボ	テレQ「夢・クルーズ」で使用	ありし日の篠山城	1
3月30日	個人	親類調査	久留米高女卒業記 念アルバム 他	2
3月26日	小郡市立 立石小学校	小学校社会科副読本「よいこの社会科」 に掲載のため	柱時計 他	15

VII. 文化財の活用・周知普及

1. 公開・活用事業

(1) 久留米市立六ツ門図書館展示コーナー

平成 22 年 10 月、久留米市立中央図書館西分館が「くるめりあ六ツ門」5階に移転し、六ツ門図書館として開館した。この館内に展示コーナーが設置され、当課が運営を担当している。

同展示コーナーは、100 m²を常設展、168 m²を企画展のスペースとする。常設展は、造り付けの居間および台所に、家具や生活用品などを揃えて、昭和 30 年代の暮らしの風景を再現している。企画展は、令和元年度は当課主催 2 回、他部局主催 2 回を開催した。

令和元年度企画展一覧

No.	展示会名	会期	来場者数(人)
1	防災展	4月27日～6月16日	1,206
2	企画展 久留米市誕生	7月6日～9月23日	3,778
3	高校生が描く世界人権宣言展	10月5日～11月5日	406
4	むかしの暮らし展 久留米市誕生2	11月23日～3月22日	5,664
5	常設展示	4月1日～3月31日	1,618
総入館者数			12,672

* 主催は、1は総務部防災対策課、3は協働推進部人権啓発センター、2・4は文化財保護課

* 常設展示「昭和30年代の暮らし」（上記1～4の会期以外）

(2) 久留米市埋蔵文化財センター

①企画展

・安武校区の歴史展

会 場：安武校区コミュニティセンター

期 間：令和元年11月9日（土）～12月7日（土）

見学者数：267名

展示解説

①11月10日（日）11:00～・12:00～

安武校区文化祭において30分程度の解説を2回実施。ともに30名、計60名。

②12月6日(金) 10:45~11:45 安武小学校6年生 計52名

③12月7日(土) 9:30~10:30 安武校区こども塾 小学生30名

・久留米の山城展

久留米市生涯学習センターとの共催事業。

期 間：令和元年6月15日(土)~28日(金)

会 場：えーるピア久留米市民ギャラリー

見学者数：719名

展示解説：6月28日(金) 11:00~11:30 発掘調査員安全講習受講者40名

関連講演会「久留米の城 古代~近世まで」

6月23日(日) 10:00~12:00 えーるピア久留米 301・302教室 72名

(3) 坂本繁二郎生家活用事業

坂本繁二郎生家は、近代洋画の巨匠である坂本繁二郎の生家であるのと同時に久留米市に唯一残る武家屋敷である。その地域的重要性を検討して平成15年7月に久留米市有形文化財(建造物)に指定された。平成18年度から平成21年度までの4年間をかけて修理復原工事を行い、平成22年5月1日から一般公開をしている。生家では、年間を通じて様々な体験講座を開催しており、文化財の周知普及に努めている。

【年間来場者数】4,857人(平成31年4月1日~令和2年3月31日)

※令和2年3月7日(土)~31日(火)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため
臨時休館

【開館日数】287日 1日平均来場者数：17人(小数点以下四捨五入)

<季節行事>

七夕まつり	期間：令和元年7月6日(土)~8月6日(火) 対象：一般 入場料：通常通り(短冊を飾りに来た場合は無料) 内容：願い事を書いた短冊を笹竹に飾る	442人
ひなまつり	日時：令和2年1月28日(火)~3月15日(日) 対象：一般 入場料：通常通り 内容：坂本家に伝わる雛人形を展示	561人

<体験事業>

茶レンジ! こども茶会	日時：令和元年6月29日(土) 10時~12時 講師：森田 宗尚 氏 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：お茶の作法について先生から学ぶ	25人
----------------	--	-----

流しそうめんを 食べよう	日時：令和元年8月10日（土）10時～12時 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：青竹で箸と器を作って、地元住民と一緒に流しそうめんを 食べて楽しむ	131人
お月見ナイト	日時：令和元年9月14日（土）19時～21時 演者：久留米落語長屋 代表 四ヶ所 十郎 氏 対象：一般 入場料・参加費：無料 内容：生家の庭を竹燈籠と紙灯籠で庭園をライトアップ 座敷にて様々なジャンルの演目の落語寄席の実施	71人
餅つき大会	日時：令和元年12月14日（日）10時～12時 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：地元住民とともに餅つきをして、ついた餅を食べる	115人
けん玉で遊ぼう	日時：令和2年2月15日（土）14時00分～16時00分 講師：横道 勝紀 氏 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：けん玉を使った様々な遊びを体験	15人

* 臨時休館期間中は体験講座等の事業実施なし

（4）令和元年度特別展 久留米に響く「第九」の調べ

大正8年（1919）12月3日、ドイツ兵捕虜達によって久留米高等女学校講堂で、ベートーヴェンの交響曲第9番が演奏された。これは国内で市民が初めて「第九」の演奏を耳にしたもので、令和元（2019）年12月に初演から100周年の節目を迎える。久留米俘虜収容所に関する資料などを展示するとともに、久留米に残るドイツ兵捕虜の足跡を紹介した。

- ・期 間 令和元年12月18日（水）～12月28日（土）10時～17時 *会期中無休
- ・会 場 久留米シティプラザ2階 展示室2
- ・参加者 842名
- ・入場料 無料
- ・関連イベント ゆかりの地をめぐるバスハイク 12月21日（土）13時～16時 33名
記念講演会 12月22日（日）14時～16時30分 70名

（5）第7回からくり儀右衛門大賞小中学生創作作品展

郷土の偉人、「からくり儀右衛門」こと田中久重の業績を顕彰し、「ものづくりのまち久留米」の次代を担う久留米市の全小・中学校の児童・生徒に、創作の喜びを体感することを促すことを目的とする。「久留米市理科作品展」に出品された創作部門の作品の中から、「からくり儀右衛門大賞」として、市長賞、教育長賞、久留米工業大学賞の受賞作品を選考。受賞作品は六ツ門図書館展示コーナーにおいて展示公開を行い、最終日に市民活動サポートセンターみんくる会議室において表彰

式を行い、各賞の受賞者 10 名に賞状・記念品の贈呈を行った。

- ・期 間：令和元年 9 月 12 日（木）～9 月 16 日（祝・月）
- ・会 場：六ツ門図書館展示コーナー
- ・見学者数：221 名
- ・表彰式：令和元年 9 月 16 日（祝・月） 15 時 30 分～16 時 00 分
- ・からくり人形実演：令和元年 9 月 16 日（祝・月） 11 時 30 分～、13 時 30 分～

（6）第 61 回歴史探訪「ドイツ兵捕虜の足跡を巡る」歴史探訪バスツアー

久留米シティプラザ展示室で開催した特別展「久留米に響く「第九」の調べ」に関連し、久留米俘虜収容所跡やドイツ兵捕虜の足跡を巡るバスハイクを会期中に実施した。

- ・期 日 令和元年 12 月 21 日（土） 13:30～16:30
- ・参加者 44 名（参加者、観光ボランティアガイドの会、報道機関含む）
- ・参加費 無料
- ・行 程 ①石橋迎賓館、②久留米高女跡碑・門、③日独戦争記念碑、④十八師団記念碑、⑤日独戦争記念碑、⑥俘虜収容所跡、⑦ドイツ兵俘虜慰霊碑の見学。

（7）第 27 回全国重要無形文化財保持団体秀作展

重要無形文化財久留米絃を有する久留米市が加盟している全国重要無形文化財保持団体協議会（略称「全重協」）において、久留米市にて第 28 回総会を開催され、合わせて第 27 回秀作展が開催された。

- ・期 日 令和元年 11 月 22 日（木）～12 月 1 日（日） 10:00～17:00
- ・会 場 久留米市美術館
- ・参加者 3,534 名
- ・入場料 無料

（8）歴史ルートづくり情報発信事業

地域固有の歴史ストーリーをわかりやすく再構成し、地域との協働による情報発信を行う。

令和元年度は、拠点となる施設や文化財の管理を行うとともに、継続して実施してきた高良山総合調査（高良大社の所蔵資料調査）が完了し、調査報告書を刊行した。また、指定や登録候補の建造物の調査や、地域固有の歴史ストーリーに基づき、エリア内の歴史遺産について効果的な情報発信を行うため、ストーリーシートの作成を行った。

なお、ストーリーシートに基づくイベントの開催準備を進め、令和 2 年 3 月 1 日に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により、延期することとなった。

ストーリーシート

- ① 梅林寺 400 年
- ② 水沼の君の時代

2. 協働・支援活動

(1) 出前講座

市民向け講座として実施している「出前講座」は、全庁的に取組んでいる制度で、文化財保護課では「私のまちの歴史と文化財」「歴史を体験」の2つのメニューを受け持っている。令和元年度の2月以降は新型コロナの影響で7件のキャンセルがあったが、計48回の出前講座を実施。

①私のまちの歴史と文化財

開催回数：41回

受講人数：1,168名

主な内容：校区コミュニティセンター主催の講座や市民団体を中心に、校区の歴史、久留米市の歴史、またテーマを設けて講座を開催。

②歴史を体験

開催回数：7回

受講人数：326名

主な内容：小学校や校区コミュニティセンター、高齢者施設において、勾玉作りや石臼によるきな粉作りなどの体験学習を開催。

(2) 学芸員実習受け入れ

受入期間：令和元年8月19日～27日（うち7日間）

受入人数：久留米大学生2名、佐賀大学生1名

受入施設：久留米文化財収蔵館、久留米市埋蔵文化財センターほか

(3) えーるピア展示

久留米市生涯学習センターとの共催事業として6月15日～27日の期間「久留米の山城展」をえーるピア久留米で開催。719名の見学者があった。

3. 刊行物等

(1) 久留米市文化財調査報告書

15冊の文化財調査報告書、および平成30年度分の文化財保護課年報を刊行。

久留米市文化財調査報告書第413集『鏈水遺跡 - 第1次調査 - 』

久留米市文化財調査報告書第414集『平成31年度市内遺跡群』

久留米市文化財調査報告書第415集『十間屋敷遺跡 - 第10次調査 - 』

久留米市文化財調査報告書第416集『庄島侍屋敷遺跡 - 第12次調査 - 』

久留米市文化財調査報告書第417集『高三瀦遺跡 - 第9次調査 - 』

久留米市文化財調査報告書第418集『筑後国府跡 - 第293次調査 - 』

久留米市文化財調査報告書第419集『高三瀦遺跡 - 第5次調査 - 』

久留米市文化財調査報告書第420集『久留米城外郭遺跡 - 第23次調査 - 』

久留米市文化財調査報告書第421集『久留米市埋蔵文化財調査集報ⅡX』

久留米市文化財調査報告書第422集『夫婦塚遺跡Ⅰ』

(2) その他の刊行物

①収蔵館ニュース

久留米市文化財収蔵資料の調査・収集・保存・活用について紹介するため、平成元年度より年 1 回発行。同 17 年度に『仮称 久留米歴史博物館準備だより』より改題。令和元年度は第 16 号を発行（改題通算 42 号）。

(3) 文化財説明板作成設置

令和元年度は「寺徳古墳」、「大谷古墳」の 2 件について、実施した。

- 田主丸町「寺徳古墳」・・・国指定史跡。説明板の撤去及び新設。
- 高良内町「大谷古墳」・・・説明板の撤去及び新設。

(2) 令和2年度の事業概要

I. 文化財保護課の体制

久留米市 〒830-8520 久留米市城南町15-3 bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp					
	課長	チームリーダー	事務職	専門職	
<p>市長 大久保 勉</p> <p>副市長 中島 年隆 森 望</p> <p>教育長 井上 謙介 0942-30-9000</p> <p>市民文化部 (市長部局) 市民文化部長 竹村 政高 市民文化部次長 西村 信二</p> <p>文化財保護課 0942-30-9225 (埋文) 0942-30-9322 (保存) 0942-30-9323 (管理) FAX 0942-30-9714</p> <p>埋蔵文化財センター 0942-34-4995 FAX 0942-34-5045</p> <p>文化財収蔵館 0942-38-6194 FAX 0942-34-5045</p> <p>西町発掘調査事務所 TEL/FAX 0942-37-7687</p> <p>六ツ門図書館展示コーナー 0942-27-9281 FAX 0942-27-7281</p>	文化財保護課	埋蔵文化財 課長補佐 久保田 由美		<p>主査 水原 道範</p> <p>事前確認</p> <p>事務主査 小澤 太郎 江島 伸彦 熊代 昌之</p> <p>西町発掘調査事務所 江頭 俊介 西 拓巳 小川原 励 大隈 彩未 長谷川 桃子 米澤 美詠子(会) 宮崎 彩香(会) 今村 理恵(会)</p>	
		課長兼埋蔵文化財 センター所長 水島 秀雄	文化財保存活用 課長補佐(兼)主査 丸林 禎彦		<p>事務主査 塚本 映子 本田 岳秋 神保 公久 穴井 綾香 大塚麻理子 原口 花恵</p> <p>文化財収蔵館 寺崎 勝美(会) 石橋 久美子(会) 小宮 淳子(会)</p> <p>六ツ門図書館展示コーナー 中村 吉文(再) 大田 佑子(会)</p>
			文化財管理 課長補佐(兼)主査 白木 守	事務主査 岡崎 明美 市村 久美子 辻 貴子 荻野 翼 内堀 一弘(再) 箔谷 綾(任)	
		(公財)久留米絃技術保存会 事務局長 水島 秀雄	事務局次長 丸林 禎彦	大藪 住江	原口 花恵
	(公財)有馬記念館保存会 事務局長 水島 秀雄	事務局次長 白木 守	岡崎 明美 内堀 一弘	神保 公久 穴井 綾香 大塚麻理子 原口 花恵	

(再)は再任用職員、(会)は会計年度任用職員、(任)は任期付短時間勤務職員の略。
朱書きは令和2年度当課配属職員

Ⅱ. 埋蔵文化財調査事業

1. 事前確認及び発掘調査事業

数年来、民間開発に伴う分譲・宅地造成・マンション建設に伴う発掘調査が、増加傾向にあったが、3月からのコロナ禍により4～5月の照会件数は減少していた。6月以降は、一転して増加に転じたが前年同月と比べて7～9割程度で推移している。

本調査の傾向は、個人住宅に起因する発掘調査の増加が際立ち、市街地ではマンション、久留米駅前再開発等の開発について包蔵地の照会がなされ、今後、大規模な発掘調査が予想される。

令和2年度 発掘調査一覧（10月15日現在）

調査番号	遺跡名	調査期間	担当者
202001	筑後国府跡第297次調査	令和2年4月8日～令和2年6月28日	長谷川
202002	筑後国府跡第298次調査	令和2年5月7日～調査中	西
202003	久留米城外郭遺跡第26次調査	令和2年4月24日～令和2年4月30日	小川原
202004	安武三反野遺跡第6次調査	令和2年5月20日～調査中	江頭
202005	筑後国府跡第299次調査	令和2年5月27日～令和2年5月29日	長谷川
202006	山王古墳群第1次調査	令和2年6月1日～調査中	小川原
202007	今泉遺跡第6次調査	令和2年6月22日～令和2年7月22日	大隈
202008	筑後国府跡第300次調査	令和2年7月20日～令和2年8月7日	長谷川
202009	筑後国府跡第301次調査	令和2年7月28日～令和2年8月7日	江島
202010	筑後国府跡第302次調査	令和2年8月3日～令和2年8月7日	大隈
202011	筑後国府跡第303次調査	令和2年9月1日～令和2年9月16日	大隈
202012	筑後国府跡第304次調査	令和2年9月14日～令和2年10月5日	長谷川
202013	南薫本村遺跡第3次調査	令和2年8月31日～令和2年9月5日	江島
202014	筑後国府跡第305次調査	令和2年10月19日（予定）～	大隈

2. 埋蔵文化財センター

平成27年度より国庫補助事業「地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業」で、筑後国府跡の再整理を行っている。今年度よりⅢ期政庁地区の出土品再整理に着手しており、3年計画の1年目にあたる今年度は、朝妻地区東部出土品の再整理を行う。また、久留米城下町遺跡第2次調査（両替町遺

跡)についても出土品再整理を行う。

その他、発掘調査を終え報告書が刊行された遺跡について、出土品を含む記録類の受け入れを行い、資料の貸出や閲覧に対応できるよう情報を管理し、收藏する。

Ⅲ. 文化財保存・整備事業

令和2年度に係る事業は、美術品1点の修復、建造物関連事業2件、史料調査事業1件、史跡等の整備に係る事業2件、名勝・天然記念物保存事業2件、文化財保存活用地域計画の作成である。

1. 有形文化財

(1) 収蔵資料補修事業

令和2年度の収蔵資料補修事業は、令和元年度に引き続き練革黒漆塗白糸威五枚胴具足修復について実施する。合同会社大西漆芸修復スタジオと修復について協議している。

久留米藩最後の藩主有馬頼成が所有する甲冑で、制作は江戸時代末期である。革製、黒漆塗である。練革とは水で濡らした革を型に押し当て、乾燥させて成形したもので、刀などで簡単には切れない軽くて丈夫なものである。本品は兜鉢や胴、籠手など、通常は鉄で造られる部分まですべて革で作られた、軽くて丈夫な甲冑である。胴や袖の裾に貼られている白い毛は山羊の毛で大変珍しく、漆や飾金物の黒色と威糸、毛の白色の対比が美しい。鎧櫃が附属している。

ア) 現状

全体に汚れが目立つ。鎧櫃は過去の補修跡に、紫外線に反応をする漆以外の塗料が見られる。埃が溜まっている。鎧櫃は、汚れが付着し、打損箇所があり、補修に漆以外の塗料が塗られている。

・兜については、塗膜剥離・剥落がみられ、素地である革の収縮に伴い、兜鉢の塗膜全面に亀裂が生じ、剥離・剥落が生じている。また、筋兜状に装飾された筋部分は、こより・革・鯨の髭などの材料が使用されていることが考えられるが、素地の収縮に伴い歪んでしまっている。兜前方全面に亀裂がある。全面に塗膜亀裂、塗膜剥離・剥落、筋の歪みあり。

五枚胴については、素地である革の収縮に伴い、五枚胴に施されている竜の高蒔絵に亀裂が生じ、大きな剥離が生じている。剥落の危険性が非常に高い状態である。高蒔絵の全体が剥離し、亀裂が生じている。この他、高蒔絵の剥離・塗膜の剥落、高蒔絵の亀裂、剥離が認められる。

その他、忍緒は表面が劣化し、繊維が広範囲に落ちている。全体に打損などによる欠損が見られ、欠損部周辺の塗膜剥離・剥落が見られる。

イ) 修復方針

現在、我が国で行われている指定文化財漆工芸品の保存修復に則り、現状保存修復を原則として行う事とする。修復に際しては、十分に事前調査を行い傷みの現状を確認した上で修復工程を決定する。

X線CT調査を実施して兜や五枚胴の構造を確認する。使用材料を調査し損傷原因を考察した上で、適切な処置方法を改めて検討する。必要に応じ蛍光X線分析、マイクロスコープ観察等の調査を行う。また、写真撮影を伴った修復の記録を取り、修復後と比較できるようにし、修復終了後報告書を作成し提出する。修復中に方針を変更する際には、適宜所有者と協議を行い決定する。

ウ) 修復仕様

事前調査ではX線CT調査を実施し、作品の現状を確認した上で改めて修復処置内容の検討を行う。検討会では甲冑製作の豊田勝彦氏とともに処置方法を検討し、安全に修復作業を実施するために五枚胴の解体・組み立て作業も担当をしてもらう。

忍緒は表面の繊維が劣化をしているが、補強処置ができないため現状のままとする。落ちた繊維は集めて別途保管をする。

クリーニング作業では、漆塗膜に傷が入らないように柔らかい毛棒で塵や汚れを払い落とす。漆塗膜に付着しているカビ汚れは、柔らかい木綿布に極少量の水分を与えたもので少しずつ拭きとりながら除去作業を行う。必要に応じ弱いアルコールを使用した除去も行うが、高濃度での使用は行わない事とする。カビ汚れの下には、漆塗膜上に時代を感じさせる経年の汚れが残されていることから、必要以上にクリーニング作業は行わない事とする。鎧櫃の補修で塗られた黒色塗料は、溶剤を使用し可能な限り除去を行う。

兜の剥離塗膜の接着では、塗膜接着用に調合した麦漆を溶剤で希釈をして塗膜下に含浸し、圧着固定を行い塗膜の安定処置を行う。作業上、麦漆での作業が困難な場合は、膠で接着を行う。筋の歪みは、真っ直ぐにする場合は余分な長さを切除する必要があるため、表面の傷を今以上に増やさないためにも現状のまま接着安定処置を行う。

五枚胴の高蒔絵剥離箇所接着では、練革の収縮に伴い元の位置に密着した状態で収まることはできない状態である。そのため、五枚胴との隙間を可能な限り減少をさせた状態で高蒔絵を塗膜接着用の麦漆で接着安定を行い、隙間に刻苧を充填し高蒔絵の安定処置を行う。鎧櫃の剥離塗膜は、兜の剥離塗膜接着と同様の仕様で接着安定処置を行う。

亀裂部と欠損部に刻苧の充填を行い形態の復元を行う。小欠損部で損傷が拡大する心配が無い箇所については現状のままとする。刻苧箇所に錆漆下地を付けて表面肌を整え、欠損部と周辺漆塗膜との段差を緩和させる。また、触手による再剥落を防止するため、塗膜際に極少量の錆漆下地を付け仕上げを上げる。

エ) 工期

令和元年8月～令和3年3月までの2か年を予定している。九州国立博物館内の文化財保存修復施設6（漆工室）において行う。

(2) 建造物関連事業

①歴史的建造物等調査事業

本事業では、みずほ銀行久留米支店の調査を実施している。また、平成30年度に調査を実施した久留米大学本館については、本年7月に国の登録有形文化財（建造物）へ答申された。本年中には告示される見込みである。

②大善寺の石造鳥居修復事業

元和4年(1618)に田中忠政により寄進された当鳥居は、造立から長期にわたり風雨にさらされ、近年は熊本地震により大きな力が加わったこともあり、鳥居を構成する各石材に弛みが生じている。現状のままでは、笠木の落下や地震等による倒壊の危険性が生じている。そのため、鳥居を一旦解体し組み直すことにより、石材のずれを修正し安定化を図り、安全性の確保と文化財の保存を図るものである。

(3) 史料調査事業

①高良山総合調査(第2次)

令和2年度は、福聚寺所蔵文書環境整備事業(県費補助)を実施中である。県指定有形文化財「福聚寺所蔵文書」について、①クリーニング(塵埃の除去、劣化防止のための養生等)、②過去調査報告書及び指定台帳との番号対照、③現状の調書作成、④概要写真撮影、⑤調書のデータ入力による目録作成、⑥資料の保管措置(中性紙封筒・文書保存箱などへの収納)を行う。

また、諏訪神社(本町6-3)境内に所在する旧高良山大猷院殿石灯籠(本町6-3)について、拓本及び実測による調査を実施予定である。

2. 記念物

(1) 史跡等の整備に係る事業

①筑後国府跡歴史公園整備事業

令和元年度は、公有化した指定地の除草など、管理事業を実施している。なお、令和2年11月1日現在の公有化面積は、36,174.62㎡(台帳及び実測面積)で、国・市有地を含めると公有化率は、85.71%となっている。

②史跡下馬場古墳石室内環境調査

本調査も引き続き、保護施設の老朽化による石室内への温湿度の影響と、将来の古墳公開のあり方を考えるための基礎データ取得を実施している。

(2) 名勝・天然記念物保存事業

①県指定天然記念物「善導寺の大クス」再生(樹勢回復)事業

平成29年度から、4ヵ年事業として開始した。令和2年度は、主幹開孔部の接木治療を実施する。接木治療は、施行予定者がドナー専用育成した地域性樹木4本を用い、主幹開孔部に植栽養生を行い、経過観察後、開孔部の突起部分や各頂点での接木を施術する。

②県指定天然記念物「柳坂曾根のハゼ並木」剪定事業

例年1月下旬から2月上旬に実施しており、地元と協力を図り、剪定作業を実施する。

3. 久留米市文化財保存活用地域計画策定事業

令和元年から引き続き、本市の歴史遺産を未来へつなぐ仕組みと具体的な取組を明確にするとともに、計画的かつ持続的な歴史文化のまちづくりを実現することを目的として作成に着手した「久留米市文化財保存活用地域計画」の作成を実施している。現在、素案まで完成しており、今年度中の完成と、令和3年度に文化庁長官による認定を目指す。

IV. 文化財の活用・周知普及

1. 公開活用事業

(1) 久留米市六ツ門図書館展示コーナー

六ツ門図書館展示コーナーは、平成22年10月の開館以来、毎年1万2千人を超える来館者を迎えている。平成28年度には累計入館者数10万人を達成した。令和2年度は、収蔵資料展およびむかしのくらし展を開催し、歴史文化の周知普及を進める。

① 久留米市収蔵資料展2020「平和・祭典・人々のくらし」

会期：令和2年10月3日（土）～令和2年12月6日（日）

主旨：久留米市では市民の皆様がらの寄贈や寄託などによって、様々な歴史資料を収集している。

本展は、昭和戦前・戦後期の「平和・祭典・人々のくらし」をテーマとし、2021年の東京オリンピックに向けて、久留米との関わりという視点から平和の祭典・オリンピックの歴史を振り返るとともに、平和の尊さを考える機会とする。

② むかしのくらし展 「着る・食べる・住まう」

会期：令和3年1月23日（土）～令和3年3月21日（日）

主旨：例年、小学3年生の社会科学習の「むかしのくらし」単元に合わせ、久留米の昔の暮らしをテーマとする展示会を実施している。今年度は、衣食住をテーマに、生活に密着した衣服や道具、資料など、約100点を展示する。展示にあたっては、市内外の小学校との連携を図り、学校教育を支援する。

六ツ門図書館展示コーナーにおける展示一覧(令和2年度当初計画)

会期	展示会名	主催	入場者数 (人)
4月1日～5月18日	臨時休館		
5月19日～9月6日	常設展	市民文化部文化財保護課	8,096
10月3日～12月6日	久留米市収蔵資料展2020 「平和・祭典・人々のくらし」	市民文化部文化財保護課	開催中
12月12日～12月27日	高校生が描く世界人権宣言展	協働推進部人権啓発センター	開催予定
1月23日～3月21日	むかしのくらし展 「着る・食べる・住まう」	市民文化部文化財保護課	開催予定

(2) 久留米市埋蔵文化財センター

普及事業としては、通年において収蔵資料の貸し出し及び閲覧に対応できる体制を整える。

また、展示会等の公開事業としては、常設展示を行う。

3年目となるえーるピア久留米市民ギャラリーを会場とした展示（久留米市生涯学習センターとの共同事業）について、現段階ではまだ内容を協議中であるが、令和3年2月に、「有馬入城 400年」事業に関連するパネル展示を行い、会期中には講演会を合わせて実施する予定である。

(3) 坂本繁二郎生家活用事業

坂本繁二郎生家は、近代洋画の巨匠である坂本繁二郎の生家であるのと同時に久留米市に唯一残る武家屋敷である。その地域的重要性を検討して平成15年7月に久留米市有形文化財（建造物）に指定された。平成18年度から平成21年度までの4年間をかけて修理復原工事を行い、平成22年5月1日から一般公開をしている。生家では、年間を通じて様々な体験講座を開催しており、文化財の周知普及に努めている。

【目標】年間来場者数：2,500人（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

※令和2年4月1日～5月31日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

【開館日数】254日

<季節行事>

七夕まつり	期間：令和2年7月2日（木）～8月7日（金） 対象：一般 入場料：通常通り 内容：願い事を書いた短冊を笹竹に飾る	227人 (実績)
ひなまつり	日時：令和3年1月26日（火）～3月14日（日） 対象：一般 入場料：通常通り 内容：坂本家に伝わる雛人形を展示	500人 (見込)

<ミニコンサート>

生誕記念 コンサート	日時：令和2年2月20日（土）14時～15時 演者：未定 対象：一般 入場料・参加費：無料	30人 (見込)
---------------	---	-------------

<体験事業>

けん玉で遊ぼう	日時：令和2年2月13日（土）10時～12時 講師：横道 勝紀氏 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：けん玉を使った様々な遊びを楽しむ	15人 (見込)
---------	---	-------------

※臨時休館期間中は体験講座等の事業実施無し

※開館中も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、飲食を伴う事業、大人数及び三密となる事業は実施無し

(4) 歴史探訪

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度については中止。

2. 協働・支援活動

(1) 出前講座

市民向け講座として全庁的に取り組む「出前講座」では、文化財保護課は2つのメニューを受け持っていたが、令和2年度については、2021年に有馬氏の久留米入城から400年を迎えるにあたり、新たにメニューを加えた。

- ① 私のまちの歴史と文化財
- ② 歴史を体験
- ③ 久留米入城400年に向けて

(2) 学芸員実習受け入れ

受入期間：令和2年8月17日～25日（うち7日間）

受入人数：久留米大学2名

受入施設：久留米文化財収蔵館、久留米市埋蔵文化財センターほか

3. 刊行物等

(1) 久留米市文化財調査報告書

第399集	『筑後国府跡Ⅱ』	令和3年3月
第423集	『安武遺跡群Ⅰ』	令和3年2月
第424集	『令和2・3年度市内遺跡群』	令和3年3月
第425集	『南薫西遺跡 第10次発掘調査報告』	令和3年3月
第426集	『筑後国府跡 第297次発掘調査報告』	令和3年3月
第427集	『筑後国府跡 第304次発掘調査報告』	令和2年3月
第428集	『夫婦塚遺跡2 第3～6次調査報告』	令和2年3月
第429集	『京隈侍屋敷遺跡第20・21次調査報告』	令和3年3月
第430集	『久留米市埋蔵文化財集報21』	令和3年3月

以上を刊行する予定である。

(2) その他の刊行物

・収蔵館ニュース 第17号

(3) 文化財説明板作成設置

例年、久留米市内の指定文化財を中心に、文化財を解説する案内板を設置・修繕している。令和2年度は「中原狐塚古墳」、「田主丸大塚2号墳」、「極楽寺古墳群」、「前畑古墳」、「梅林寺有馬家墓所」を予定している。

(3) 次年度以降の諮問予定資料

昨年度の委員会で承認をいただいたもの。

① 虫追い祭り

平成 27 年度に保存団体である JA にじ青年部から、市指定文化財への打診があった。田主丸町の年中行事として、少なくとも江戸時代より行われていることが『石原家記』の資料から伺える。戦後、一時、中断していたが、JA にじ青年部によって 3 年に一度の開催として再開された。本来の祭りとは開催方法などで異なる部分はあるが、虫追い祭りに不可欠な平氏と源氏の人形、馬は踏襲されている。27 年度の文化財専門委員会でも説明。なお、令和元年度は、11 月 16 日に催される予定である。

② 田中久重関係資料

久留米出身の発明家、からくり儀右衛門こと田中久重に関する資料で、市が収集を予定している資料について検討。なお、平成 9 年度購入の「弓曳き童子」と、平成 29 年度購入の「文字書き人形」の 2 体は、令和元年 6 月 4 日付で日本ばね学会の「ばね技術遺産」に認定。平成 26 年 12 月に市指定文化財となった「弓曳き童子」とともに、県指定以上の位置づけについても検討を進める。

③ 正福寺遺跡出土資料

平成 15・16 年度に実施した低湿地の調査で、縄文時代後期のイチイガシを中心とした堅果類の貯蔵穴 60 基近くを検出。160 点を超える編みかごなどの編組成品や、杓状（しゃくじょう）木製品、石斧が装着された状態の直柄（なおえ）などが出土。報告書作成に向けて継続的に整理中。

④ 久保遺跡出土の土器群

城島町に所在する遺跡。平成 15・16 年度の調査で、弥生時代前期にあたる黒色磨研（まけん）土器が 50 点近く出土しており、朝鮮半島との関連が指摘される遺跡でもある。今後は資料の評価について、他地域出土の遺物と比較検討を進める。

なお、平成 30 年 10 月に幹折れにより倒壊した「目安町の一里塚」（天然記念物）については、樹勢回復の見込みがないため、指定解除について検討を進める。

目安町の一里塚

所在地：久留米市安武町安武本

指定種別：史跡・天然記念物

経緯：平成30年10月15日の夕方に倒壊



平成30年10月16日時点の状況



令和2年10月29日現在の状況